

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン入間店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認						
02	モーダルシフトの推進	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。			○	○	○
()							
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○
()							
04	積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						
04	積載率の向上	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。			○	○	○
(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施						

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン入間店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
01	公共交通機関の利用促進	入口2か所にバス時刻表の掲示。ホームページにも表示			○	○	○
(01)	公共交通機関利用の啓発						
02	自転車の利用促進	敷地内に4か所設置し400台分整備しています。			○	○	○
(01)	十分な広さの駐輪場の整備・維持管理						
02	自転車の利用促進	無料空気入れをサイクル売場前に設置			○	○	○
(02)	自転車利用者へサービス・インセンティブの付与						
02	自転車の利用促進	店入口までスムーズに入れるように、一般道路か店敷地内への段差にはスロープを設置している			○	○	○
(03)	自転車利用者の利便性の向上						
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進	平成27年の8月に充電設備の新規設置予定			○	○	○
(03)	電気自動車用充電器等の整備						
05	駐車場や施設周辺道路の渋滞防止	メイン道路信号機の場所に、繁忙期に交通警備員の配置 商品搬入の出入り口は、常時交通警備員の配置をしている			○	○	○
(01)	交通整理員の配置						

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	周辺道路の渋滞緩和のため、出入り口に交通警備員を配置、進行方向に配慮している	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	敷地内に入庫する場合の進行方向の表示をしている	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	駐車場の利用者に対して、混雑のおりは、臨時交通警備員を配置いたし、渋滞緩和をするよう誘導している	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、無料宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	インターネットショッピングサイトを開設し運用中である	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン浦和美園店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、ISO14001を取得している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン浦和美園店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		館内放送などで啓発している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	敷地内建物周りに駐輪場を整備している。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	駐車場内へ電気自動車用充電器を設置している(急速1台 普通1台)。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ()	館内放送などで啓発を実施している。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	混雑する曜日・イベントに合わせて交通警備員の数を調整している。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	入出管理システム管理者が常駐し、随時対応出来るようにしている。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	交通案内看板を設置している。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	台数監視盤で混雑状況を把握している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等	ネットスーパーの実施	○	○	○
(01) 荷物の宅配サービスの実施				
06 宅配サービスの実施等	ネットスーパーの実施	○	○	○
(02) インターネット等を利用した物品販売の促進				

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大井店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	(01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。		○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定						
(02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認		イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。		○	○	○
02 モーダルシフトの推進	()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。		○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握	()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大井店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		電車、バス時刻表の掲示		○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理		敷地内の自転車置き場の整備、駐輪スペースの確保。		○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備		普通充電器、急速充電器の設置		○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置		土日祝については警備員を配置し、誘導を行い、混雑に対処する。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	土日祝については警備員を配置し、誘導を行い、混雑に対処する。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	市指導の下、常時、看板を設置(入口右折禁止)	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	繁忙時期や祭りによる渋滞が予測されるイベントには増員や開催関係者へ協力体制を図る。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	購入した商品を即日配送サービスの実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーによるインターネット注文、販売を実施	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、ISO14001を取得している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理		立地法上必要台数の確保(1, 230台)		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 (03) 自転車利用者の利便性の向上	さいたま市事業(レンタサイクル)への参画(駐輪場ポートの提供・事業締結済)	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	7月下旬に2台分の電気自動車用充電器設備の設置	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	毎日、店舗周辺出入り口に交通誘導警備員を配置(4～8名)	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	上記記載の交通警備員による実現	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	各出入り口に「方面案内表示」の設置	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	土曜日・日曜日・感謝デー・火曜日に交通警備員の増員実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	サービスカウンターにて実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 サイクルシェアリング及びカーシェアリングの普及促進 (01) レンタサイクル及びコミュニティサイクルの推進	さいたま市と同事業において事業推進のための「レンタルポート使用場所」の使用貸借契約書の締結を実施済	○	○	○
07 サイクルシェアリング及びカーシェアリングの普及促進 (02) カーシェアリングの推進	14年度10月～11月に同事業についてさいたま市への協力を実施、結果さいたま市より高い評価をいただく(ポート利用率が民間事業者提供のポートの中でダントツの1位を確保したこと)。継続して事業推進に協力予定	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮西店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理		敷地内に駐輪場を5箇所整備している。		○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備		地下駐車場に電気自動車用充電器を整備(2箇所)		○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ()		アイドリングストップのお願い等の店内放送実施		○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置		渋滞緩和のため車両が多い時間帯に入口へ配置		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	周辺へ、交通案内看板を設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	即日便 2,000円以上お買い上げ・・・一箱(200円) イオンカード保持者 2,000円以下・・・一箱(300円)	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	インターネットショッピングサイトを開設し運用 お買上5000円以上・・・送料無料 5000円未満・・・送料324円	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。		○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認		イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。		○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()		長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、 改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモ ジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包 装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発 注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注して いる。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載 車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進 捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイ ブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの組み や最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の 店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件と している。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請を している。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認 を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		バス路線図の掲示とバス時刻表の無料配布		○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理		820台の駐輪場を確保		○	○	○
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与		無料の空気入れをモール内3箇所設置		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車用充電器設置済	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	土日祝日、セールス時には警備員立哨し交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	土日祝日、セールス時には警備員立哨し交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	土日祝日、セールス時には誘導看板を出し対応している	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お中元、お歳暮、母の日等2500円以上を無料配送	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品を中心にネットスーパーにてインターネット販売を実施	○	○	○
08 その他の必要な取組 ()	社有車2台のうち1台は電気自動車であり、50kを超える移動でなければ電気自動車を優先して利用	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
03	自転車への転換の推進	従業員通用口近辺に駐輪場を設置					
(02)	利用しやすい駐輪場の設置・維持管理						
04	時差通勤の実施	開店前品出しや閉店後作業も含み、幅広い時間帯での出勤の為、時間差通勤となっている					
()							
07	エコドライブの推進	後方にアイドリングストップ宣言やエコ・ドライブポスターを掲示し啓蒙					
(01)	エコドライブの啓発						

《 1 大規模荷主 》

事業者名		イオンリテール株式会社	事業所名		イオン北浦和店			
取 組 措 置			具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定		環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認							
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定		イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認							

自動車地球温暖化対策実施方針

02 モーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あがりによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン北浦和店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		駐車場のスペースの問題もあり特別な理由がない限りマイカー通勤不可としている		○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (01) 低燃費車利用の啓発		包括協定により行政よりのポスターを売場に掲示		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等	即日便	○	○	○
(01) 荷物の宅配サービスの実施				

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン北戸田店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認						
02	モーダルシフトの推進	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。			○	○	○
()							
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。 ①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○
()							
04	積載率の向上	①常温：パレット、オリコン ②低温：標準クレート ※PB商品：商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化：段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。 FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。 研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。 年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10	その他の必要な取組	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○
()					

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン北戸田店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01	公共交通機関の利用促進	店頭出入り口にバス時刻表掲示。	○	○	○	
(01)	公共交通機関利用の啓発					
01	公共交通機関の利用促進	戸田公園駅東口、戸田駅入口、武蔵浦和駅西口の3か所よりイオンモール北戸田までの無料送迎バス運行。(土・日・祝・20日・30日)	○	○	○	
(03)	送迎バスの運行					
01	公共交通機関の利用促進	繁忙時における無料送迎バスの増便。	○	○	○	
(04)	電車及びバス利用者の利便性の向上					
02	自転車の利用促進	駐輪場全館にて1,000台収容可能。	○	○	○	
(01)	十分な広さの駐輪場の整備・維持管理					
02	自転車の利用促進	2015年10月にて100台分増設予定。	○	○	○	
(03)	自転車利用者の利便性の向上					

自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	駐車場内へ電気自動車用充電器を設置している(2基)。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	敷地出入り口3か所への誘導警備員配置。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	周辺道路の渋滞緩和の為、出入り口の幅や設置数、進行方向に配慮している。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	敷地内駐車場出入り口における案内板設置。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	混雑予想日に臨時駐車場(100台)確保。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	中元・歳暮・母の日等における2,500円以上お買い上げにつき無料配送実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品等のネットスーパーでインターネット販売。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン熊谷店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
01	公共交通機関の利用促進	店内放送での、公共交通機関利用の呼びかけ			○	○	○
(01)	公共交通機関利用の啓発						
02	自転車の利用促進	駐輪場の設置と、維持管理の実施。			○	○	○
(01)	十分な広さの駐輪場の整備・維持管理						
02	自転車の利用促進	自転車売場に無料の空気入れを設置。 毎月15日に自転車無料点検を実施。			○	○	○
(03)	自転車利用者の利便性の向上						
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進	平成27年度にEV充電器を設置予定。			○	○	○
(01)	低燃費車利用の啓発						
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進	平成27年度にEV充電器を設置予定。			○	○	○
(03)	電気自動車用充電器等の整備						
04	来場者に対するエコドライブの啓発	アイドリングストップ等の啓発ポスターの掲示			○	○	○
()							

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	出入口に警備員を配置し、スムーズな交通誘導に努めている。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	店舗周辺道路へ駐車場出入口の交通案内看板を設置。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	店舗周辺道路へ駐車場出入口の交通案内看板を設置。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	ネットスーパーの実施。 お中元、お歳暮、母の日ギフトなど、2,500円以上を無料配送。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーの実施。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン狭山店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		狭山市駅から無料シャトルバスを1時間に2便運行している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 (02) 公共交通機関利用者へのサービス・インセンティブの付与	バス来店者スタンプ実施予定。仕組みができればWAONポイント付与	○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 (03) 送迎バスの運行	狭山市駅コースと狭山台団地コースの2コースを走らせている。	○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 (04) 電車及びバス利用者の利便性の向上	電車利用者に対して、狭山市駅から無料シャトルバスの運行。新狭山も検討。	○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	駐輪台数327台の確保。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (02) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	電気自動車普通充電器(1時間)無料サービス	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	急速充電器1台、普通充電器1台の設置。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ()	アイドリングストップポスター設置、店内放送の実施。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	土日祝、火曜日に交通警備員の配置。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	入間・川越出口の誘導員の確保、渋滞時に店内放送の実施。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	交通案内看板の設置。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	隣の武蔵狭山店で「即日便」を実施しているため、未実施。	—	—	—
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	隣の武蔵狭山店で「ネットスーパー」を実施しているため、未実施。	—	—	—

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンせんげん台店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01	公共交通機関の利用促進	せんげん台店⇄大袋方面 せんげん台店⇄武里団地方面の運行、固定客の囲い込み実施。		○	○	○
(03)	送迎バスの運行					

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	毎日駐車上出入口に警備員を立哨し、交通警備を実施。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	混雑時には、駐車場出口のゲートの開放を実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お中元、お歳暮、母の日等2, 500円以上を無料配送	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン新座店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。		○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認		イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。		○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()		長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、 改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモ ジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包 装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発 注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注して いる。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あがりによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載 車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進 捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイ ブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの組み や最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の 店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件と している。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請を している。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認 を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン新座店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		バス路線図の掲示とバス時刻表の無料配布		○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理		820台の駐輪場を確保		○	○	○
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与		無料の空気入れを1箇所設置		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車用充電器設置済	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	土日祝日、セールス時には警備員立哨し交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	土日祝日、セールス時には警備員立哨し交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	土日祝日、セールス時には誘導看板を出し対応している	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お中元、お歳暮、母の日等2, 500円以上を無料配送	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品を中心にネットスーパーにてインターネット販売を実施	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。	○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あがりによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	バス路線・時刻表をフロアガイドパンフレットにて無料配布	○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	600台の駐輪場確保	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車用充電器(チャージングポイント)の設置済み	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	土日祝日、セールス時には警備員立哨し交通誘導の実施	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	土日祝日、セールス時には警備員立哨し交通誘導の実施	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	土日祝日、セールス時には誘導看板の実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お中元・お歳暮・母の日等2,500円以上を無料配送実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等	食料品中心にネットスーパーにてインターネット販売の実施	○	○	○
(02) インターネット等を利用した物品販売の促進				

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店		
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置	H27	H28	H29
03	自転車への転換の推進	従業員通用口付近に駐輪場を設置	○	○	○
(02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理					
04	時差通勤の実施	開店前品出しや閉店後作業等、幅広い時間帯での出勤による時間差通勤の実施	○	○	○
()					
07	エコドライブの推進	後方通路にアイドリングストップ宣言の啓蒙ポスター掲示	○	○	○
(01) エコドライブの啓発					

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン武蔵狭山店			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01	公共交通機関の利用促進	イオン狭山店との共同運行にて狭山市駅及び狭山台コースにてシャトルバス運行		○	○	○
(03) 送迎バスの運行						

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 (04) 電車及びバス利用者の利便性の向上	イオン狭山店との共同運行にて狭山市駅及び狭山台コースにてシャトルバス運行	○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	店舗1F東側出入り口及び西出入口と2Fロテリア側に駐輪場を設置	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	店舗周りに駐車場案内の看板設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	ご購入頂いた商品の即日配達の実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーという部署において利用促進を図っている。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール川口			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール川口			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		バス路線図の掲示とバス時刻表の無料配布の実施		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	現状1,000台の駐輪場を確保し、維持管理に努めている。	○	○	○
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	無償で利用できる空気入れを設置している。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ()	駐車場内にアイドリングストップ等の看板を設置している。また、出入口等にエコドライブ推進のポスターを掲示している。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	車での来店が多い土日祝日は外周に警備員を立哨させ、道路混雑が発生しないよう誘導を行なっている。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	出口近くに方面表示を付けるなどして、スムーズに出庫が出来るよう案内している。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	駐車場への案内等の誘導看板を出し、交通誘導に務めている。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お中元、お歳暮、母の日など2,500円以上を無料配送。また近隣については、店頭での購入品を安価で自宅へ即日配送するサービスを実施。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等	サイト：イオンショップドットコムを活用したインターネット販売の実施	○	○	○
(02) インターネット等を利用した物品販売の促進				

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール川口前川				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認						
02	モーダルシフトの推進	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。			○	○	○
()							
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○
()							
04	積載率の向上	①常温：パレット、オリコン ②低温：標準クレート ※PB商品：商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化：段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あがりによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10	その他の必要な取組	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○
()					

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール川口前川		
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置	H27	H28	H29
01	公共交通機関の利用促進	フロアガイドにアクセスのご案内	○	○	○
(01)	公共交通機関利用の啓発				
02	自転車の利用促進	無償で利用できる空気入れの設置	○	○	○
(02)	自転車利用者へサービス・インセンティブの付与				
06	宅配サービスの実施等	即日便の実施。母の日、父の日、お中元・お歳暮ギフト等2,500円以上の商品無料配送。	○	○	○
(01)	荷物の宅配サービスの実施				
06	宅配サービスの実施等	ネットスーパーで受付け、宅配サービス実施。	○	○	○
(02)	インターネット等を利用した物品販売の促進				

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン与野店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、SO14001を取得している。	○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン与野店				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	バス時刻表を店内掲示。サービスカウンターにて案内。	○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	1, 200台の駐輪場の確保。 不要自転車の撤去を定期的の実施し、駐輪スペースを確保している。	○	○	○
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	無料の空気入れをイオンバイク外売場に設置。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車用充電器(急速タイプ1台、普通タイプ1台)を設置済。 (2014年7月設置)	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ()	店内催事として、「エコドライブ」イベントを開催。無料のタイヤ空気圧点検やエコドライブシュミレーター体験、次世代自動車の展示。 (2015年6月)	○	—	—
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	警備員を配置して、交通誘導を実施。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	曜日・セールスに応じて、立哨警備員の数を増やし、交通誘導を実施している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	誘導看板を出し、対応している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	当日配送便(1箱300円)として近隣への宅配サービスの承りを実施。 お中元・お歳暮・母の日等、2,500円以上お買上にて無料配送実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品を中心に、インターネット等の媒体を利用したネットスーパー事業を実施している。	○	○	○
08 その他の必要な取組 ()	イオン与野店では従業員の自家用車での通勤は原則禁止とし、徒歩・自転車・公共交通機関での通勤をルールとしている。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンレイクタウンMORI			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的に報告させ、未達の事業者には改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、ISO14001を取得している。		○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認		イオングローバルSCM(株)として改正省エネ法の定期報告書の提出している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

02 モーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進している。また、自社内の物流のみならず、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送も拡大している。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更など。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注している。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ④海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ⑤海外輸入商品の多港あがりによる国内幹線輸送の削減 ⑥配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施している。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。また当社の店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請をしている。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施している。(車検証による情報の車両台帳記載)	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ実施を要請している。エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習も実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間は、事業会社(発注者)、センター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター) 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、荷主と調整している。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	イオングループの物流実務はサードパーティーロジスティクスを活用している。	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、新センターの整備を行っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	取引先さま、委託先さまとはイオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による、情報共有を実施。社内関連部署とはISOによる環境会議を定期的に実施している。今後も継続実施し情報共有と取り組みを推進していく。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	駐車時のアイドリングストップの取り組み。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンレイクタウンMORI			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		店内放送での、公共交通機関利用の呼びかけ		○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 (02) 公共交通機関利用者へのサービス・インセンティブの付与		電車でご来店のお客さまへグリーンスコアを付与。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 (03) 送迎バスの運行	最寄駅から店舗までの無料バスの運行実施。	○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 (04) 電車及びバス利用者の利便性の向上	電車利用者に対し、駅から店舗までの無料バスの運行実施。	○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	駐輪台数3,140台の確保。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (02) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	電気自動車急速充電器の利用が30分間無料。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車の急速充電ステーションの設置。急速充電器2機、普通1機設置。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ()	アイドリングストップ等の啓発ポスターの掲示	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	交通整理員を配置している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	駐車場入口混雑状況のご案内実施。各方面からの一番便利な駐車場入口や駐車場情報をご案内。出庫の際、電子マネーWAON使用可。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置	商業施設全体で交通案内看板を設置している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	イオンレイクタウンmori内商業施設「イオンスタイルレイクタウン」にて、ネットスーパーの実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンレイクタウンmori内商業施設「イオンスタイルレイクタウン」にて、ネットスーパーの実施。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンレイクタウンOUTLET			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		店内放送での、公共交通機関利用の呼びかけ		○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 (03) 送迎バスの運行		最寄駅から店舗までの無料バスの運行実施。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 (04) 電車及びバス利用者の利便性の向上	電車利用者に対し、駅から店舗までの無料バスの運行実施。 イオンレイクタウンkazeとつながるブリッジの完成(2015年秋)予定。	○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の整備・維持管理	駐輪台数1, 030台の確保。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (02) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	電気自動車急速充電器の利用が30分間無料。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車の急速充電ステーションの設置。急速充電器1機、普通1機設置。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ()	アイドリングストップ等の啓発ポスターの掲示	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	交通整理員を配置している。	○	○	○
05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	駐車場入口混雑状況のご案内実施。各方面からの一番便利な駐車場入口や駐車場情報をご案内。出庫の際、電子マネーWAON使用可。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場や施設周辺道路の渋滞防止	商業施設全体で交通案内看板を設置している。	○	○	○
(03) 駐車場周辺へ交通案内看板の設置				
06 宅配サービスの実施等	お買い上げ品の宅配(有料)を導入。	○	○	○
(01) 荷物の宅配サービスの実施				